

一般的な配布のために承認された文書



ION-R100ユーザーマニュアル

バージョン1.10

IONODES

The **smart** appliance of media.

IONODES INC.

www.ionodes.com

Table of Contents

1	あなたが始める前に	3
1.1	ION-R100について.....	3
1.2	パーツリスト	4
2	ハードウェアのインストール.....	5
2.1	機器のインストール.....	5
3	接続.....	6
3.1	後面パネル	6
3.2	フロントパネル	7
4	シリアルポート接続.....	10
5	LEDステータスを理解.....	12
6	デバイスの構成.....	13
6.1	ネットワーク設定	13
6.2	ION-R100ウェブインターフェースの使用.....	17
6.2.1	NTPタイムサーバーの設定.....	18
6.2.2	ビデオ出力パラメーターの設定.....	19
6.2.3	ポイントツーポイント接続.....	23
7	ファームウェアの更新の実行.....	28
7.1	バッチファームウェアの更新.....	29
	クイックセットアップガイド.....	32
7.2	IPカメラ付き1X1 HDMIレイアウト.....	32
7.3	4つのIPカメラを備えた2X2 HDMIレイアウト.....	34
7.4	4つのIPカメラを備えた1X1シーケンスHDMIレイアウト.....	36
	付録A –構成パラメーターの参照.....	38
	付録B –トラブルシューティングガイド.....	39
	付録C –ステートメント限定保証.....	40

1 Before you begin

1.1 About the ION-R100

ION-R100シングルポートデコーダーは、高品質のH.264 / MJPEGビデオのデコードと表示をビデオ監視市場に提供します。

H.264 / MJPEGビデオをアナログ (SD) またはHDMI (720p / 1080p) ディスプレイにデコードできる、組み込みの高性能デジタルビデオデコーダーです。

ネットワークAPIのサポートを組み込むことで、ION-R100はネットワークビデオ管理システムに統合でき、スケーラブルで拡張可能なIP監視システムで集中監視と管理が可能になります。

サポートされているVMSシステムのリストについては、IONODESにお問い合わせください。

ION-R100の高性能デコード機能は、IPネットワークを介したビデオの利点を提供しながら、アナログおよびデジタルカメラストリームをデコードおよび表示する費用対効果の高い方法を提供します。

ION-R100は、ユニットの展開に必要な時間と労力を大幅に削減できる革新的な構成オプションとツールを提供します。ユーザーは、Webベースの構成ツールを使用して、アプライアンスのあらゆる側面を簡単かつリモートで管理できます。

ION-R100は、総所有コストを予算の制約内に維持しながら、高性能なデコードをサポートするために、非常に効率的なH.264ストリーム解凍を使用し、オプションのMJPEGストリームデコードもサポートします。

ION-R100は、IPベースのビデオエンコーダーのIONODESラインと組み合わせて、完全に機能するポイントツーポイントリンクを作成する機能を提供します。ION-R100は完全な互換性もあり、市販のほとんどのサードパーティIPカメラおよびビデオエンコーダーが提供するH.264 / MJPEGビデオストリームをデコードできます。

1.2 Parts List

Qty	説明
1	ION-R100アプライアンス
1	端子台ソケット (P/N Weidmuller 1727660000または1727580000)

注：開梱するときは、出荷ボックスとアプライアンスを調べて、出荷による損傷の可能性を特定してください。すべてのアイテムが配達され、アイテムが不足していないことを確認してください。損傷や欠陥が見つかった場合は、IONODESの担当者にお問い合わせください。

注：製品シリアル番号ラベルは、ION-R100またはそのコンポーネントがサービスを必要とする場合にIONODES製品サポートチームがデバイスとその工場構成を識別するのに役立ちます。ラベルはエンクロージャーの底面に貼られています。

2 Hardware Installation

2.1 Equipment Installation

ION-R100は、デスクトップなどの平らな面に配置するか、利用可能な取り付け穴を介して取り付けすることができます。

ION-R100を取り付けるときは、ユニットの前後にケーブルの隙間ができるようにユニットを配置します。ユニットに最小限の空気の流れが供給されていることを確認してください。

ION-R100は、使用可能な取り付け穴を介してさまざまな取り付け構造に取り付けることができます。取り付けネジはデバイスに同梱されていないことに注意してください。

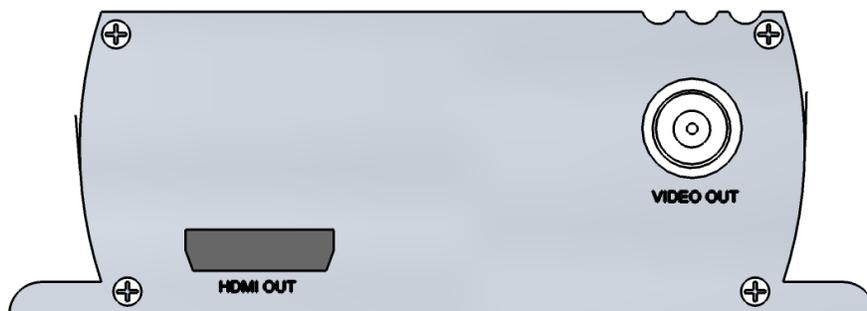
Warning: 取り付けネジを使用するときは、エンクロージャを損傷しないように注意してください。

3 Connections

装置を機器に接続する前に、ION-R100の前面パネルと背面パネルをよく理解してください。

ION-R100は、アナログビデオ出力、HDMIビデオ出力、および関連するI / Oとオーディオ接続を提供します。

3.1 Rear Panel



- ビデオ出力

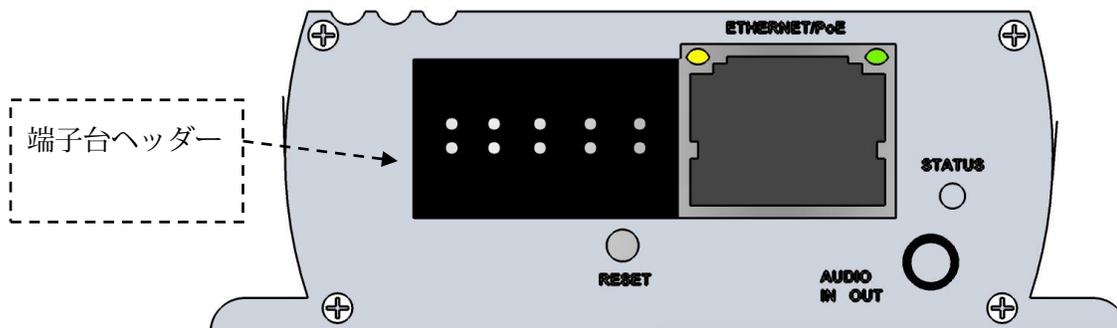
アナログディスプレイ（NTSC / PAL）へのビデオ出力用のBNCコネクタインターフェイス。

- HDMI出力

デジタルディスプレイ（720p / 1080p）へのビデオ出力用のHDMIコネクタインターフェイス。

注：ION-R100で機能するすべてのHDMIディスプレイではありません。詳細については、IONODES担当者にお問い合わせください。

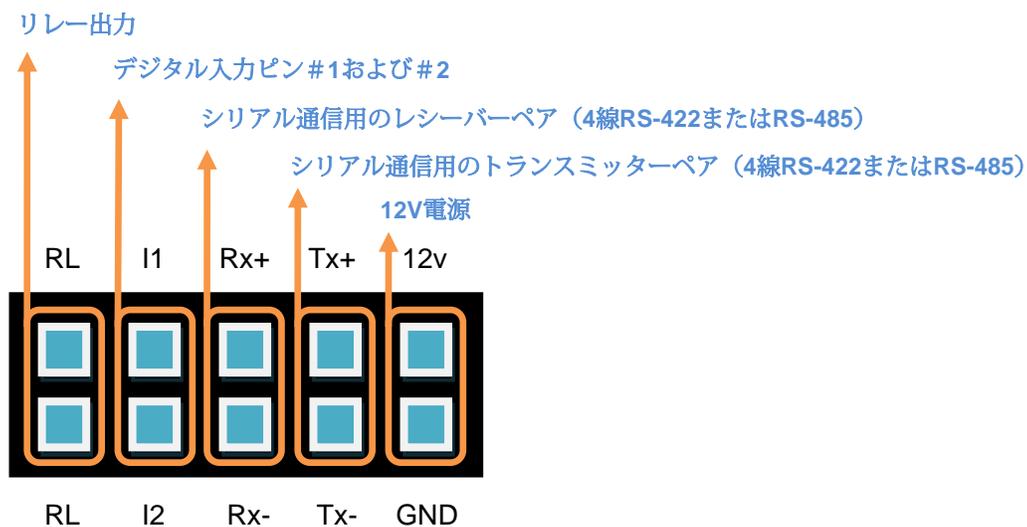
3.2 Front Panel



- 端子台ヘッダー

このヘッダーコネクタは、シリアルポート、I/O、および電源接続へのインターフェイスを提供する付属のターミナルブロックソケットを接続するために使用されます。

以下は、このターミナルブロックソケットの詳細図です。

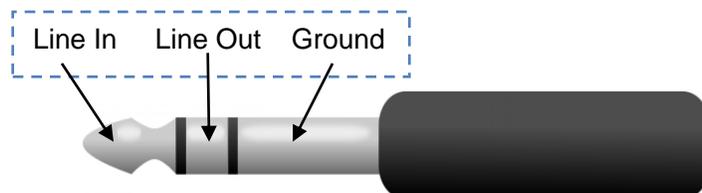


ターミナルブロックソケットのピン配置の説明は次のとおりです。

Number	Description	Direction
1	RL (Relay)	Out
2	RL (Relay)	Out
3	I1 (Digital Input 1)	In
4	I2 (Digital Input 2)	In
5	RX+	In
6	RX-	In
7	TX+	Out
8	TX-	Out
9	12V supply	In
10	Ground	-

- **オーディオ入力/出力**

オーディオ入力とオーディオ出力ソースの両方を接続するために使用できる3.5 mmジャック。このコネクタが提供するステレオチャンネルは、オーディオ入力用とオーディオ出力用の1つのチャンネルを公開します。



- **状態**

システムステータスLEDは、デバイスの現在の状態に関する詳細情報を提供する2色（赤-緑）LEDです。

- **イーサネット/PoE**

これはION-R100ネットワークポートです。ストレートRJ45（cat. 5または6）ネットワークケーブルを使用してください。ION-R100は、必要に応じてPower-Over-Ethernet（PoE）準拠の電源を受け入れます。

•リセット

リセットボタンを使用して、ハードウェアリセットを実行したり、デバイスの構成パラメーターのデフォルト設定への完全なリセットを実行したりできます。

oアプライアンスの再起動：鋭利な物体（ペーパークリップなど）の先端でリセットボタンをすばやく押して放すと、R100が再起動を実行します

oアプライアンスを工場出荷時のデフォルト設定にリセットする：リセットボタンを押したまま、鋭利な物体（ペーパークリップなど）の先端で押し続けます。オンボードステータスLEDのパターンが赤/緑の交互の色に変わったら、ボタンを離します。

R100は工場出荷時のデフォルト設定をリロードし、自動的に再起動します。

4 Serial Port Connectivity

多くのデバイス（PTZキーボード、PTZカメラなど）は、他の機器との通信にRS-422 / 485プロトコルを使用します。これらのプロトコルは、DTEとDCE機器間のバイナリデータ交換の標準です。

RS-422 / 485 4線構成を使用してシリアル機器をION-R100に接続するには、次の手順を使用します。

1. ツイストペアケーブルを、デバイスのフロントパネルにあるターミナルブロックソケットに接続します。Tx +、Tx-、Rx +、Rx-、およびGNDに接続します。
2. デバイスのWebインターフェースまたは外部VMSインターフェースを使用して、目的の動作モード（RS-422 4線、RS-485 2線またはRS-485 4線）を選択します。
3. RS-422 4線またはRS-485 4線シリアル機器とION-R100間の適切な接続を確保するには、次のスキームを使用します。

Equipment Serial Port	ION-R100 Serial Port
TX+	RX+
TX-	RX-
RX+	TX+
RX-	TX-
GND	GND

RS-485 2線構成を使用してシリアル機器をION-R100に接続するには、次の手順を実行します。

1. 負のデータ信号を作成するには、ターミナルブロックソケットでRxピンとTxピンを接続します。
2. 正のデータ信号を作成するには、ターミナルブロックソケットでRx +ピンとTx +ピンを接続します。
3. RS-485 2線式シリアル機器とION-R100間の適切な接続を確保するには、次のスキームを使用します。

機器のシリアルポート	ION-R100シリアルポート
Data +	Data +
Data -	Data -
GND	GND

5 Understanding LED Status

次に、ION-R100のシステムステータスLEDマッピングについて説明します。

通常の操作：

- オペレーティングシステムの起動-LED はオレンジで点灯 (最大60秒)
- 内部アプリケーションの起動-LEDがオレンジで点滅 (2秒間隔)
- ION-R100システムの準備完了- LEDは緑色に点灯
- メディアストリーミング- LEDが緑色で点滅 (1/2秒間隔)

特別な操作：

- 受信したコマンドを識別する-LED がオレンジ/緑で点滅
- ハードウェアリロードのデフォルト設定-LEDが赤/緑で急速に点滅している
- ソフトウェアウォッチドッグがアプライアンスを再起動しています- LEDが赤く速く点滅しています
- ファームウェアの更新が進行中-LEDがゆっくりと赤/緑で点滅

注：通常の操作では、ION-R100の起動には最大で1～2分かかります。

6 Device Configuration

ION-R100は、ビデオネットワークで使用する前に設定する必要があります。ION-R100を互換性のあるビデオ管理ソフトウェア（VMS）ソリューションと組み合わせて使用する場合、他のデバイス設定はVMS自体で管理されるため、ネットワーク構成のみが必要になる可能性が高くなります。この場合、VMSがネットワーク上のデバイスを特定できるようにするには、ネットワーク構成が必要です。

ION-R100をスタンドアロン構成（1つまたは複数のIPカメラとのポイントツーポイント接続など）で使用する場合、基本的なビデオ出力および接続設定は、デバイスのWebインターフェースを介して設定する必要があります。ネットワーク設定。この場合、デバイスはこの構成を内部メモリ内に保持し、完全にスタンドアロンのビデオデコードおよびディスプレイアプライアンスとして機能します。

デバイスの構成は、デバイスのネットワークポートに直接接続されたラップトップ、またはネットワーク経由でリモート接続されたラップトップを使用して適用できます。

6.1 Network Configuration

工場出荷時のデフォルトでは、ION-R100はDHCPで設定されています。DHCPサーバーを使用していない場合、サブネットマスク255.255.0.0を使用して、169.254.0.1～169.254.255.254の範囲のAPIPA（自動プライベートIPアドレス）アドレスが自動的に割り当てられます。

デバイスの初期ネットワーク構成は、IONODESが提供するツールであるIonConfigTool（ICT）を介して行われます。このツールは、IONODES Webサイト（www.ionodes.com）にあります。

ICTは5つの重要な役割を果たします。

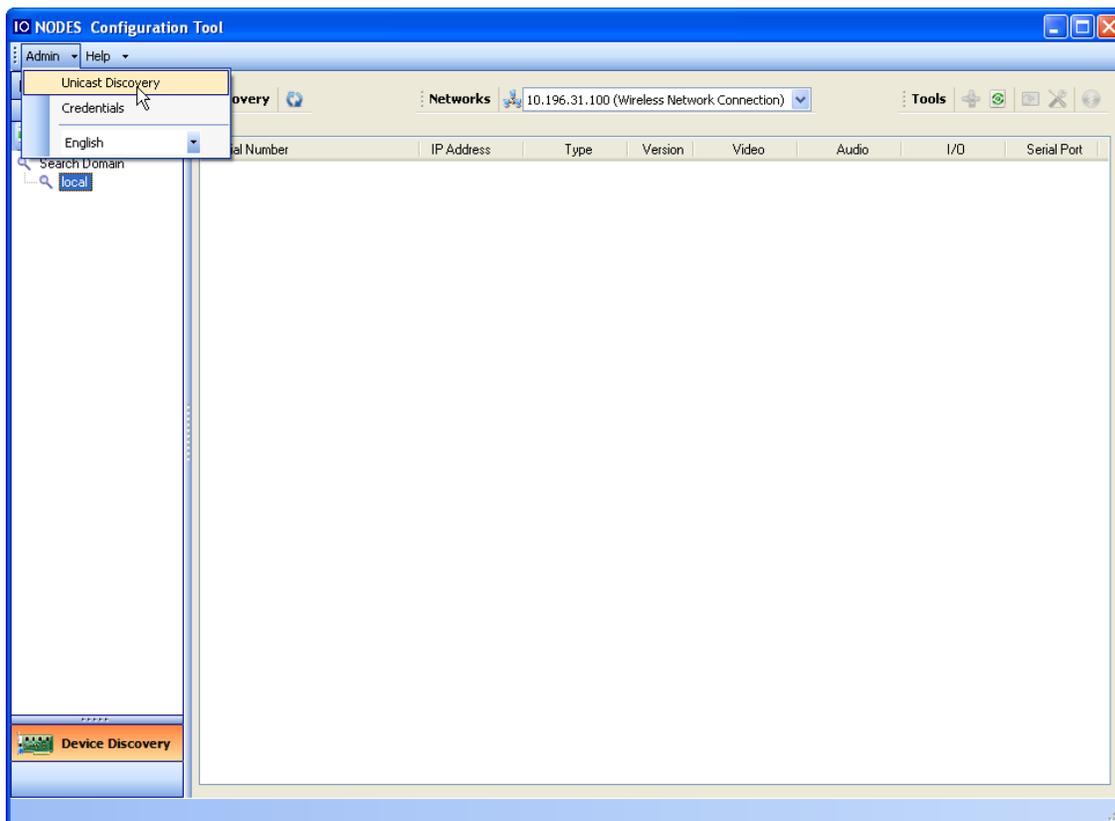
1. ネットワーク上のすべてのION-R100およびその他のIONODESデバイスの検出
2. IPアドレスとサブネットマスクのリモート構成

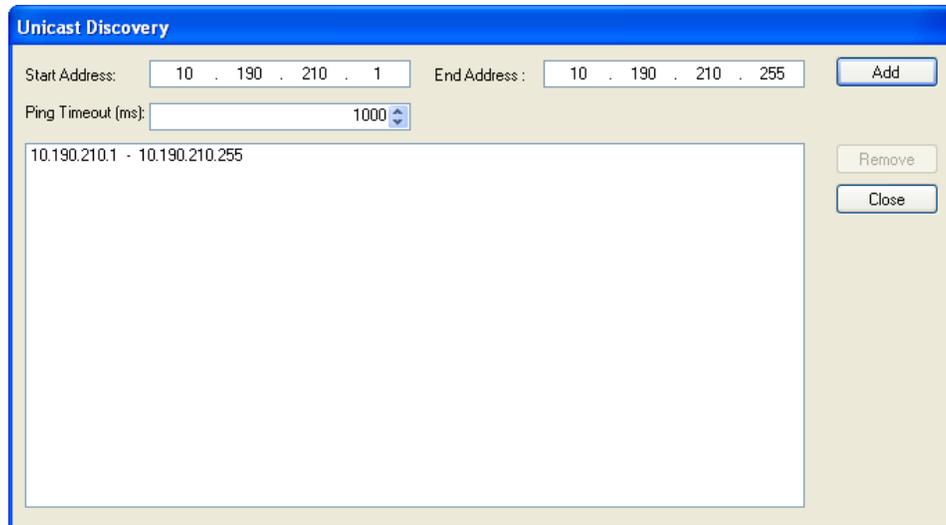
3. LED（赤/緑）を点滅させてIONODESデバイスを識別する
- 4.すべての一般的なIONODESデバイスのバッチファームウェアアップグレードの適用
- 5.デバイスのWebベースの管理インターフェイスへのアクセス

ネットワークにデバイスをインストールして電源を入れたら、デバイスと同じネットワーク上にあるコンピューターからICTを起動します。

ICTは、ネットワーク上のデバイスを検出するための2つの方法をサポートしています。最初の方法は設定を必要とせず、Bonjourディスカバリプロトコルを使用します。Bonjourを介してデバイスを検出できるようにするには、ネットワークがマルチキャストIPをサポートしている必要があります。

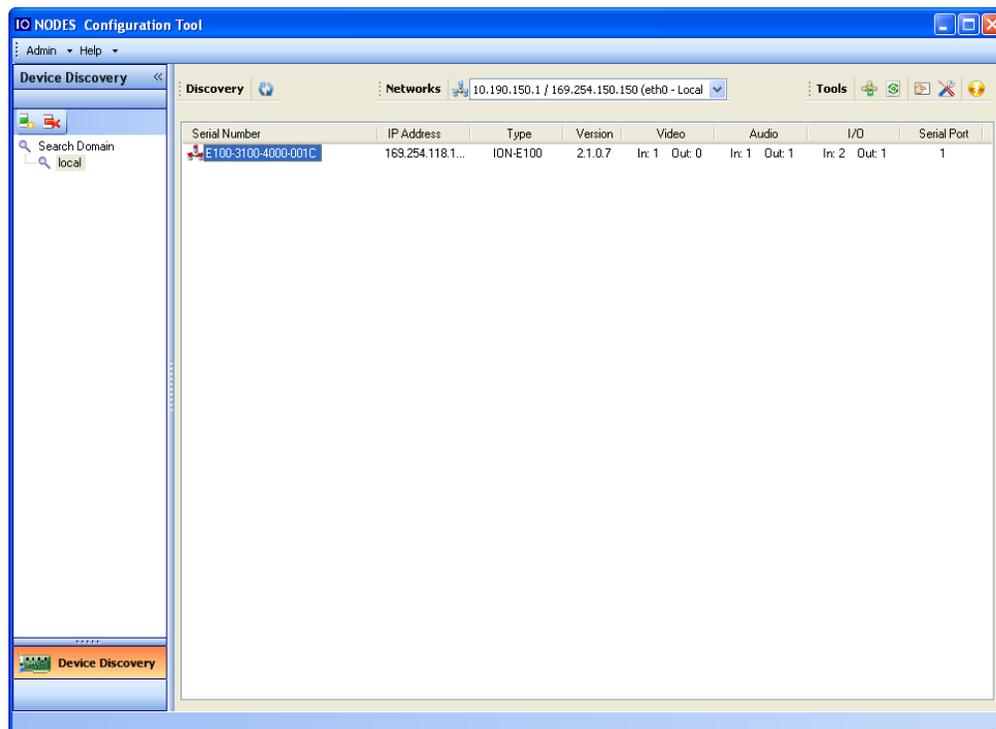
マルチキャストがサポートされていない場合は、2番目の方法であるユニキャスト検出を使用できます。ユニキャスト検出は、管理メニューリストの下の「ユニキャスト検出」メニューオプションを使用して設定できます。



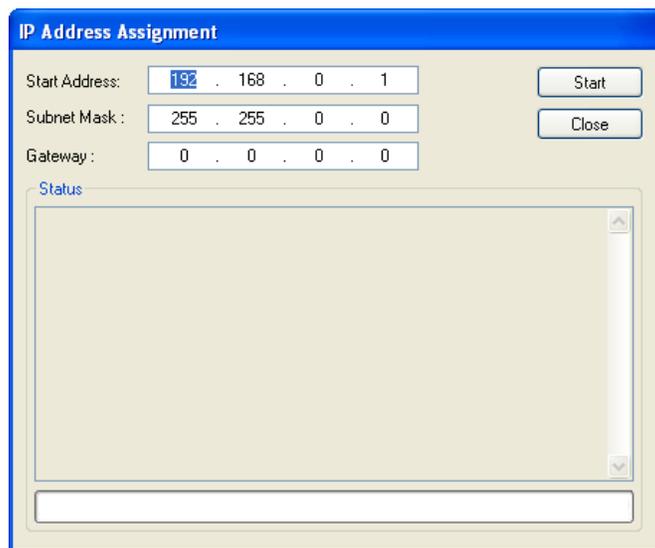
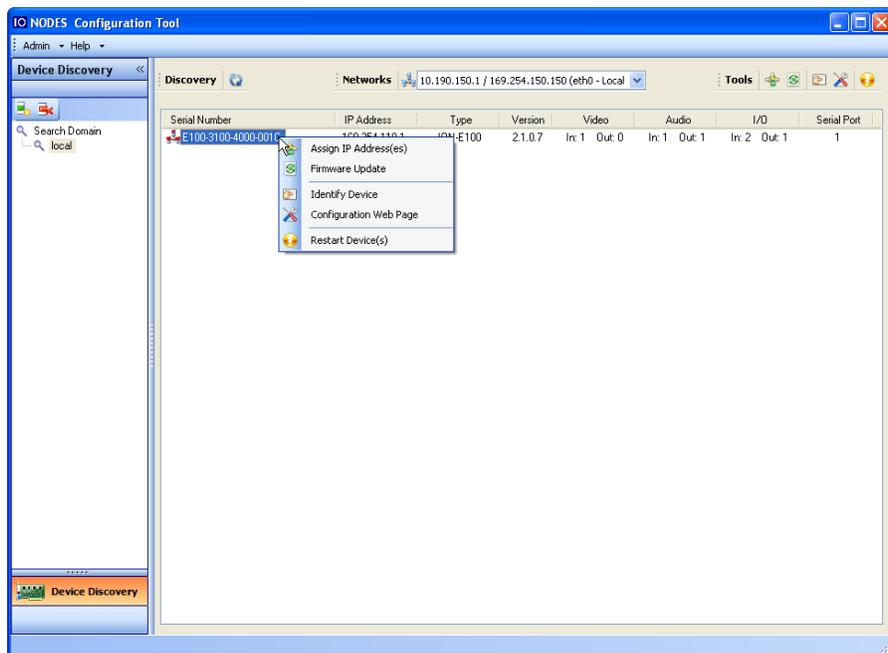


ユニキャスト検出を構成するには、1つ以上のIPアドレス範囲を追加します。ユニキャスト検出は、構成された範囲内の特定のIPアドレスのデバイスに到達しようとします。IPアドレスの範囲が大きい場合、検出は長いプロセスになる場合があります。発見を加速するために、IPアドレスの小さな範囲をいくつか追加します。

待ち時間の長いネットワークでは、pingタイムアウトオプションを増やすことができます。ICTは、ネットワーク上で検出した数のデバイスを表示します。



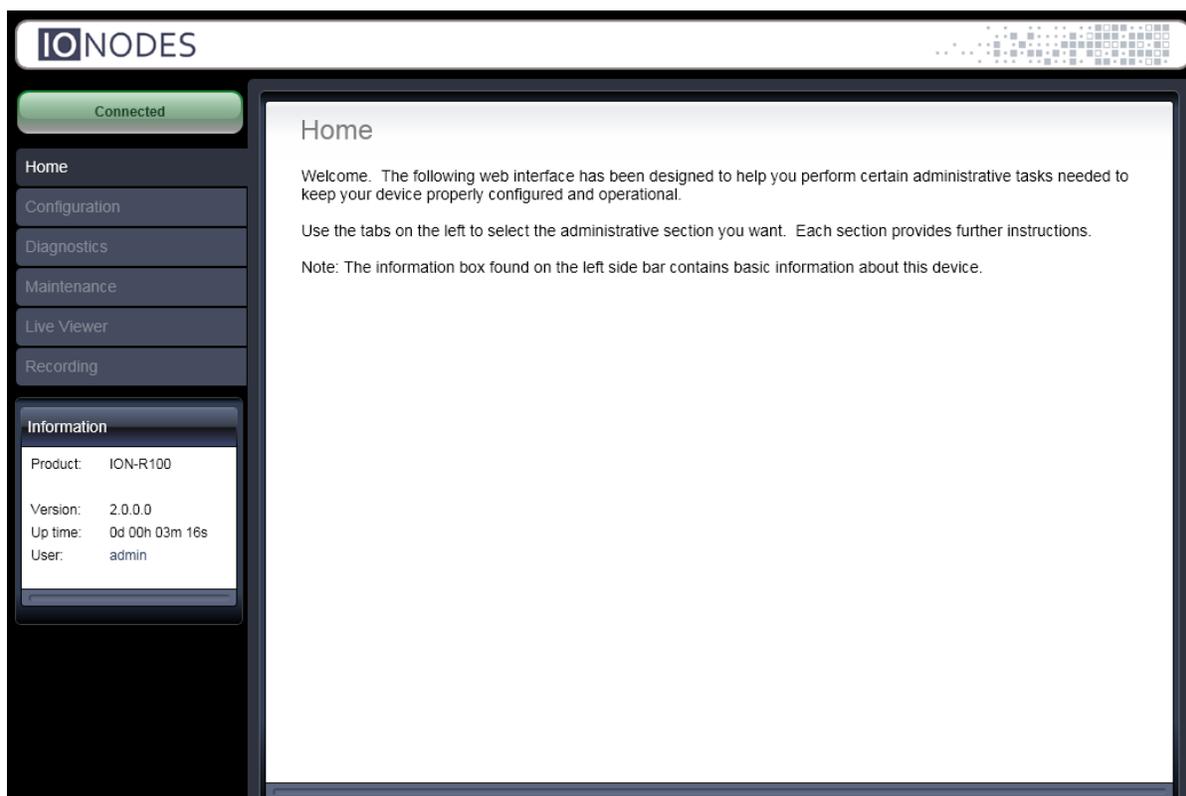
DHCPサーバーがIPアドレスをION-R100に割り当てることができなかった場合、ICTPAリストにAPIPAアドレス（169.254.*.*）とともに表示されます。ION-R100がAPIPAアドレスを表示する場合、ネットワークで使用する前に有効なIPアドレスで構成する必要があります。選択リストから「IPアドレスの割り当て」を選択し、目的のTCP/IP設定をデバイスに適用します。



TCP/IP設定が設定されると、ION-R100のWebベースの構成インターフェースを、ICTから起動するか、アドレスバーにデバイスのIPアドレスを入力してWebブラウザで直接起動できます。

6.2 Using the ION-R100 Web Interface

デバイスのウェブインターフェースにアクセスすると、ユーザー名とパスワードの入力を求められます。工場出荷時のデフォルトのユーザー名とパスワードは両方とも「admin」です。次のウィンドウが表示されます。



ユニットを使用する前に、次のパラメータをプログラムする必要がある場合があります。

1. NTPタイムサーバー
2. ビデオ出力パラメーター

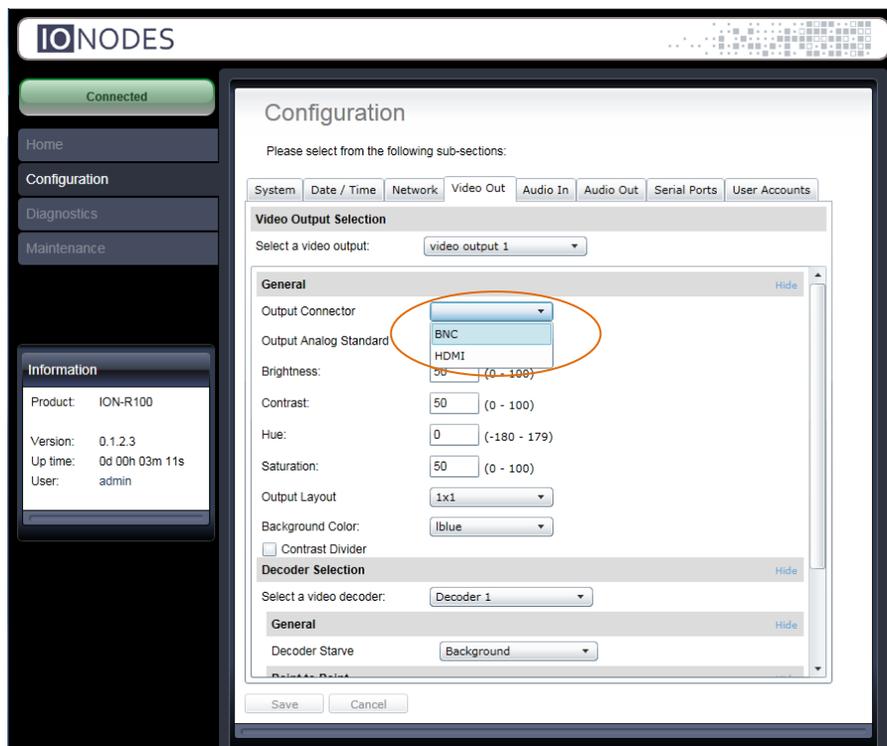
6.2.1 NTPタイムサーバーのセットアップ

[構成]セクションで、[ネットワーク]タブを選択し、NTP構成ヘッダーの下に適切なNTPサーバーアドレスを設定します。[保存]ボタンをクリックして、変更を適用します。

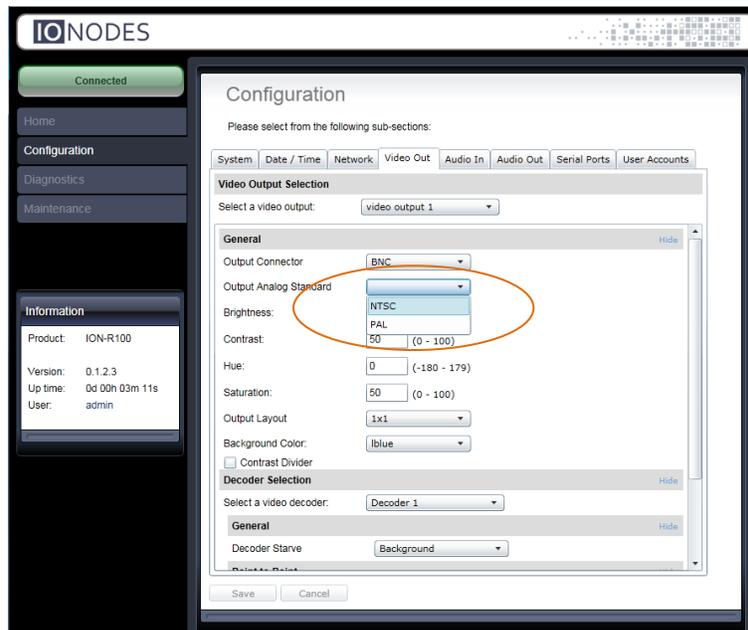
The screenshot displays the IONODES configuration web interface. On the left is a navigation sidebar with a 'Connected' status indicator and menu items for Home, Configuration, Diagnostics, Maintenance, Live Viewer, and Recording. Below these is an 'Information' box showing system details: Product: ION-R100, Version: 2.0.0.0, Up time: 0d 00h 03m 16s, and User: admin. The main content area is titled 'Configuration' and contains several sub-sections: IPv4 Configuration (with 'Use DHCP' checked), Host Name Configuration (with a text input field), NTP Configuration (with an 'NTP server address' text input field circled in orange), HTTP Configuration (with ports 80 and 443, and authentication mode set to 'Digest'), Bonjour (with a search domain input), and RTSP Configuration. At the bottom of the configuration area are 'Save' and 'Cancel' buttons.

6.2.2ビデオ出力パラメーターの構成

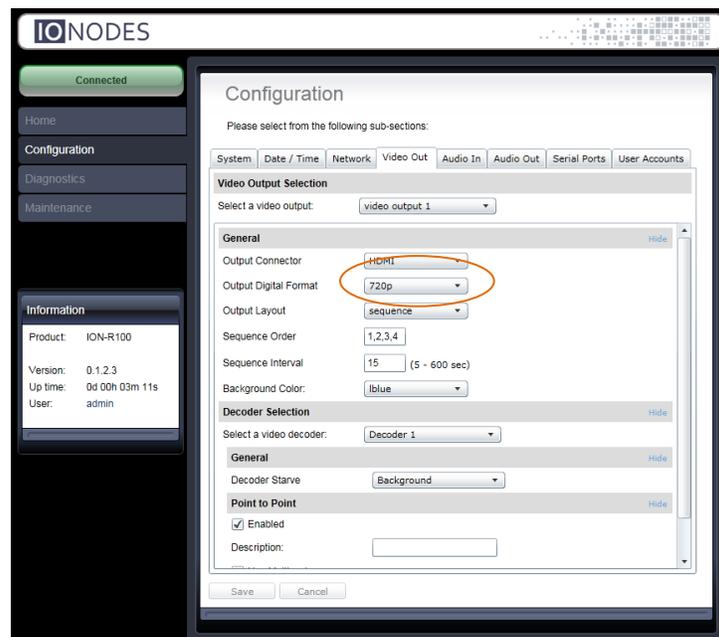
デフォルトでは、ION-R100はビデオをアナログ出力ポート（BNC）に出力するように構成されています。高解像度HDMI出力を使用する場合は、下の図に示すように、出力コネクタパラメータをHDMIに変更できます。



BNC出力コネクタを選択すると、ディスプレイモニターに合わせて、以下に示すように、目的の出力アナログ標準（NTSCまたはPAL）を選択できます。



HDMI出力コネクタを選択すると、HDMIディスプレイモニターに合わせて、以下に示すように目的の出力デジタル形式を選択できます。

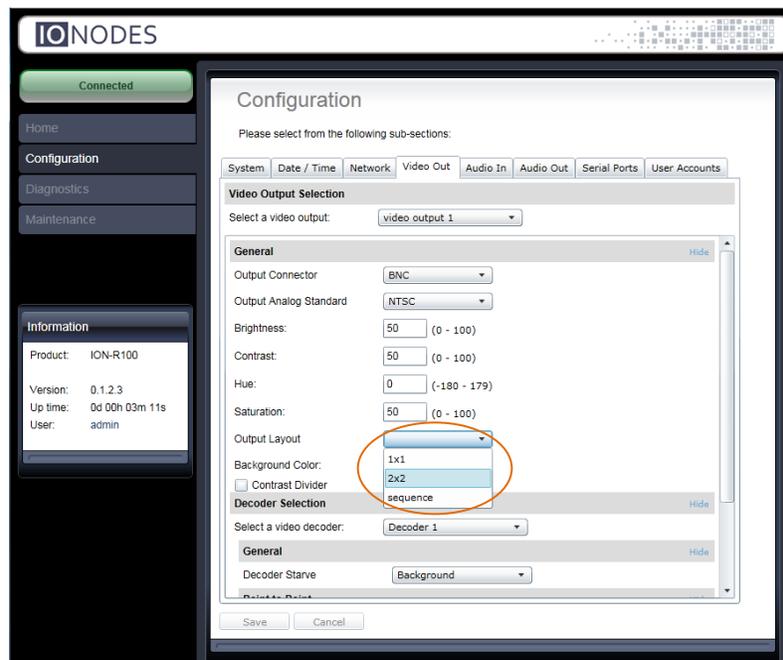


工場出荷時のデフォルトでは、ION-R100は1x1出力レイアウトの単一のビデオストリームデコーダーとして構成されています。

このモードでは、ION-R100は単一のH.264 / MJPEG IPビデオソースのみに接続でき、構成された出力コネクタ（BNCまたはHDMI）で全画面でデコードおよび表示します。

ただし、これはION-R100が最大1080p30 / 720p60までの解像度でHDビデオソースをデコードできる唯一のモードです。

ただし、出力レイアウトは[出力レイアウト]パラメーターを使用して変更できます。他の可能なレイアウトは2x2またはシーケンスで、両方とも同時に最大4つのビデオストリームデコーダーを使用できます。

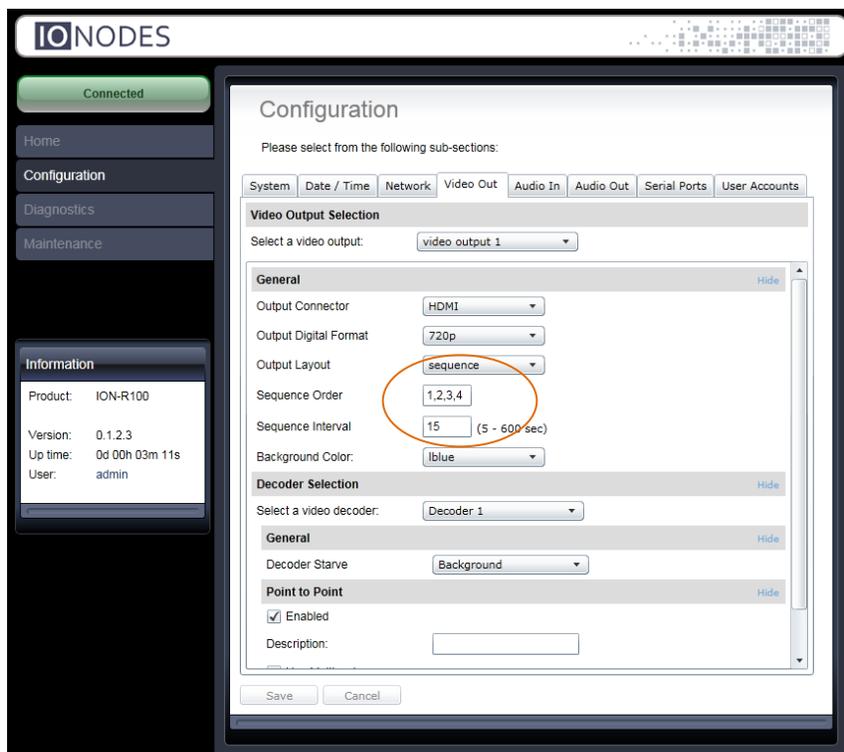


出力レイアウトを2x2またはシーケンスに設定すると、4つのビデオストリームデコーダーが使用可能になり、すべてを同時にデコードおよび表示できます。

このモードでは、ION-R100は4つのH.264 / MJPEG IPビデオソースに同時に接続でき、構成された出力コネクタ（BNCまたはHDMI）でタイル化された2x2レイアウトまたはフルスクリーンシーケンスでデコードおよび表示します。

ただし、このモードでは、4つのビデオストリームデコーダーのそれぞれでサポートされるビデオソースの解像度がD1に制限されます。

出力レイアウトをシーケンスに設定すると、ビデオストリームデコーダーは、Sequence Intervalパラメーターで指定された時間間隔で、Sequence Orderパラメーターで指定された順序に従って、フルスクリーンで一度に1つずつ表示されます。



注：変更を適用するには、必ず[保存]ボタンをクリックしてください。

Warning: 特定のパラメータの変更（出力モードをBNCからHDMI、またはその逆に変更するなど）では、変更を適用する前にION-R100を再起動する必要があることに注意してください。

6.2.3ポイントツーポイント接続

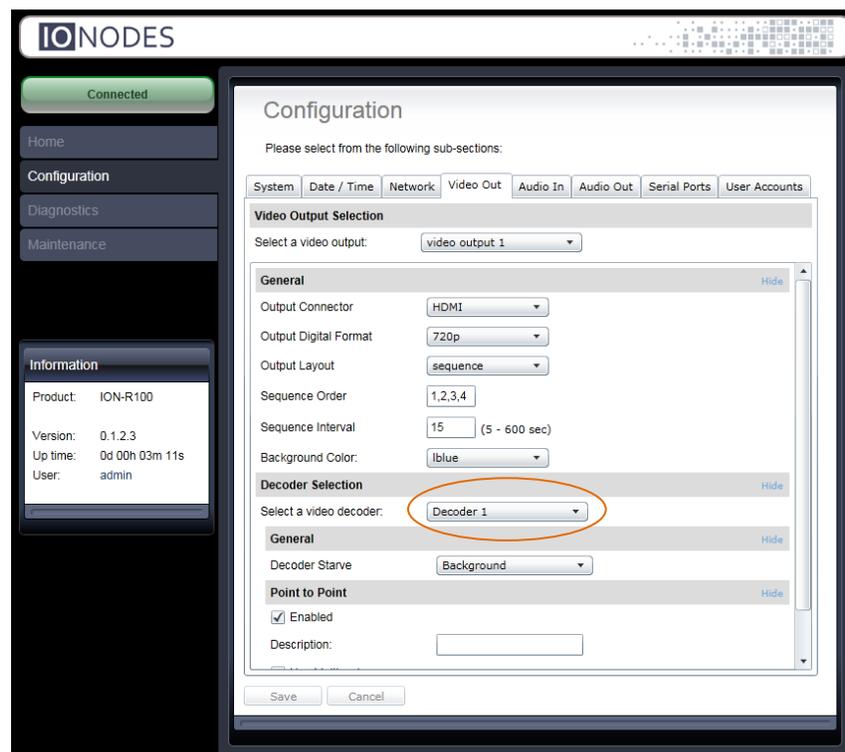
ION-R100デコーダーは、ポイントツーポイント接続を使用して、完全にスタンドアロンのビデオデコードアプライアンスとして機能できます。

これは、たとえば、デコーダーを使用してIPベースのビデオストリームのスポットモニターを駆動する場合に役立ちます。

必要なビデオ出力パラメーターを設定して適用した後、ポイントツーポイント接続の構成を行う必要があります。

ビデオ出力パラメーターは、ION-R100の出力タイプ（BNCまたはHDMI）とデコーダーレイアウト（1x1、2x2またはシーケンス）を定義します。

選択した出力レイアウトに応じて、ポイントツーポイント設定を構成するために、一定数のビデオストリームデコーダーが使用可能になります。

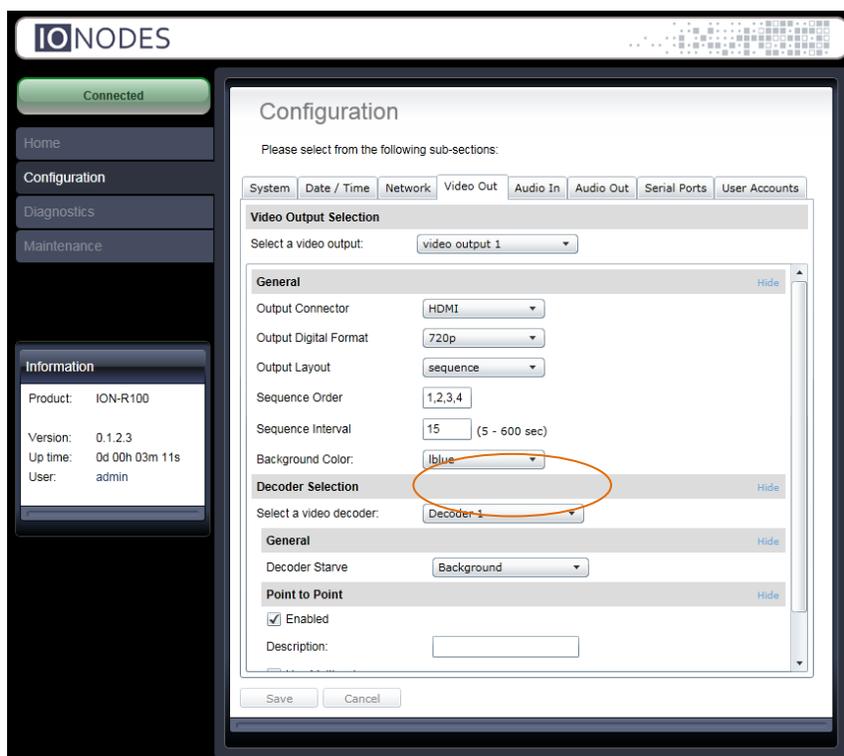


各ビデオストリームデコーダーに対して、一連のパラメーターを設定し、ポイントツーポイント接続を構成して有効にすることができます。

Decoder Starveパラメーターを使用すると、H.264 / MJPEGストリームが表示用にデコードされていない場合のビデオストリームデコーダーの動作を選択できます。

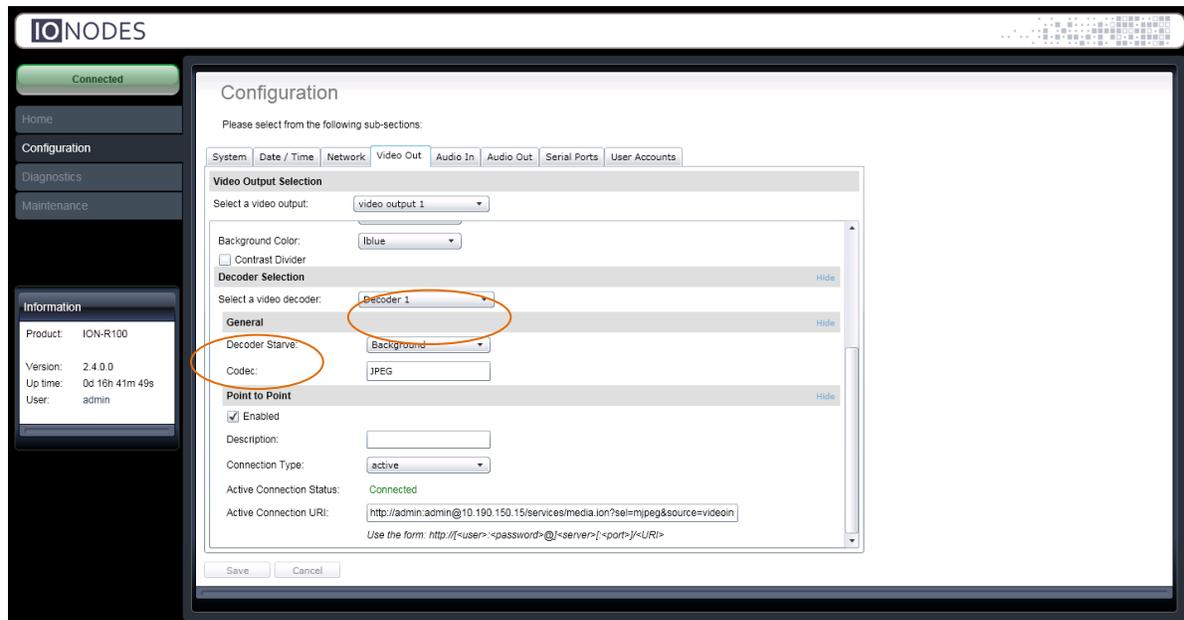
[背景]を選択すると、デコードおよび表示するストリームがない場合、デコーダーは背景色（ビデオ出力用に選択された色）を表示します。

[最後にデコードされた画像]を選択すると、デコードして表示するストリームがなくなったときに、デコーダーは最後にデコードされたビデオフレームを静止画像として表示します。

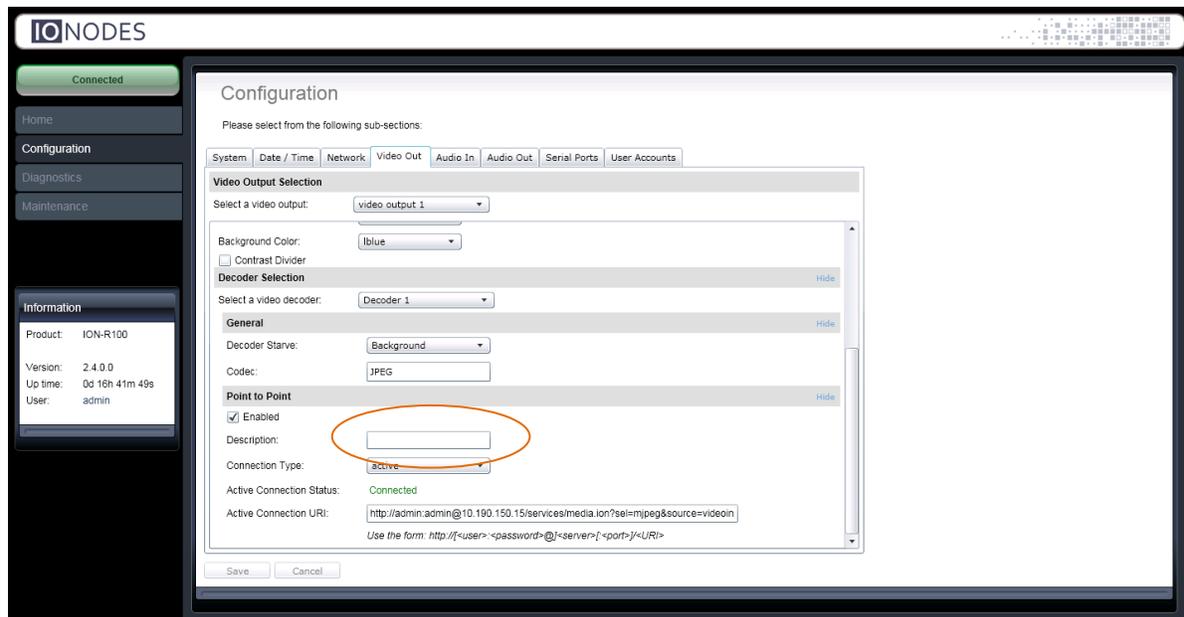


ビデオストリームデコーダーごとに、H.264 / MJPEG IPカメラまたはビデオエンコーダーとのポイントツーポイント接続をセットアップできます。

ポイントツーポイント接続を有効にするには、まずビデオストリームソースに一致する適切なコーデック（H.264またはMJPEG）を選択し、[有効]チェックボックスをオンにする必要があります。



オプションで説明を追加して、将来の参照のためにポイントツーポイント接続を識別することができます。



ビデオストリームデコーダのポイントツーポイント接続を設定する次の手順は、目的の接続タイプを選択することです。アクティブモードの場合、ビデオストリームデコーダは、IPカメラやIPビデオエンコーダなどのビデオストリームソース（HTTPまたはRTSP）への直接接続を確立し、必要なビデオストリームを要求します。パッシブモードの場合、ION-R100は接続を確立しません。リスニングネットワークポートを開き、着信ストリーム（RTP）を待機するだけです。

アクティブモードは、次のビデオソース（IPカメラまたはエンコーダ）をサポートしています。

- HTTPを介したMJPEG
- RTSP / RTP / UDPユニキャストを介したH.264
- RTSP / RTP / UDPマルチキャストを介したH.264

パッシブモードは、次のビデオソース（IPカメラまたはエンコーダ）をサポートしています。

- H.264 over RTP / UDPユニキャスト
- H.264 over RTP / UDPマルチキャスト

ポイントツーポイント接続に使用できる設定は次のとおりです。

•接続タイプ：デコーダが使用するポイントツーポイント接続のタイプを示します。使用可能な選択肢は、アクティブまたはパッシブです。

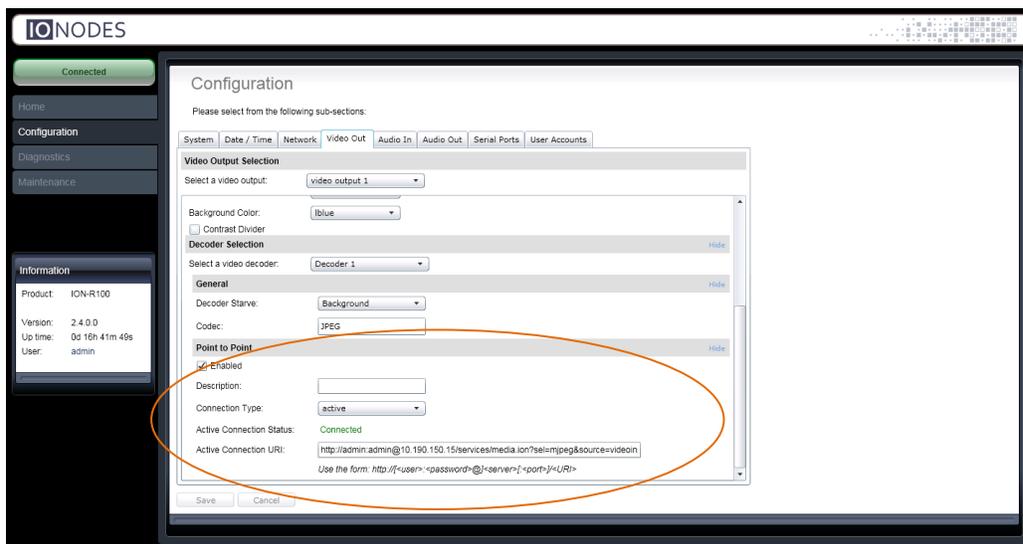
- 有効：この接続が有効かどうかを示します。
- 説明：接続の自由形式のユーザー説明。デバイスは使用しません。
- パッシブモードの場合：

o Use Multicast：着信ビデオストリームがマルチキャストIPタイプであるかどうかを決定します。
o ソースポート：着信ビデオをリッスンするネットワークポート。この値は、IPビデオソースのビデオストリーム宛先ポート値と一致する必要があります。たとえば、IPカメラがION-R100のポート555にビデオをストリーミングするように構成されている場合、ソースポートは555に設定する必要があります。

- アクティブモードの場合：
oアクティブな接続ステータス：アクティブなポイントツーポイント接続の現在のステータス。診断目的の読み取り専用値。

- 接続中：ストリーミングソースとのビデオ接続が進行中です
 - 接続済み：ストリーミングソースとのビデオ接続が確立されています
 - 無効：URIの処理中にエラーが発生しました
 - サーバーが見つかりません：ストリーミングソースに到達できません
 - 不正：提供された資格情報はストリーミングソースによって拒否されます
 - URIが見つかりません：提供されたURIはストリーミングソースによって不明です
 - サポートされていない圧縮：ストリーミングソースコーデックはサポートされていません
- アクティブな接続URI：IPストリーミングソースからビデオストリームにアクセスするために使用されるURI。HTTPまたはRTSP接続URIが受け入れられます。URIには、接続の確立に必要な資格情報を含めることができます。例：
rtsp://[ユーザー名]:[パスワード]@[ipaddr]/h264

すべての設定が設定されたら、ページの下部にある[保存]をクリックして適用します。上記の変更の一部は、有効にする前にデバイスの再起動が必要になる場合があります。再起動すると、ION-R100は設定どおりにポイントツーポイント接続を作成します。



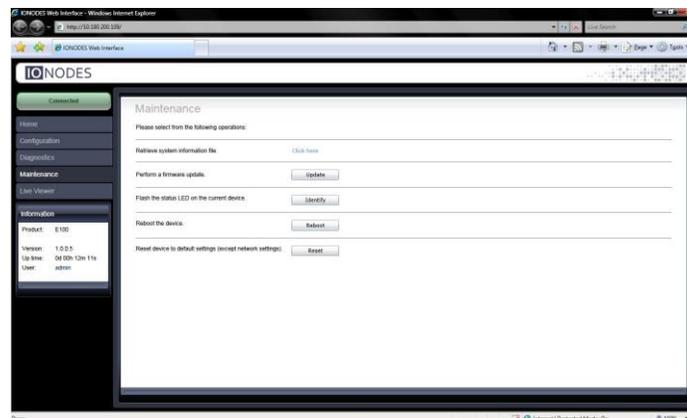
注：IONODESはHTTPおよびRTSPストリーミングデバイス（IPカメラおよびエンコーダー）で定期的なテストを実行し、ION-R100との互換性を検証します。テスト済みのデバイスと関連するURIの完全なリストについては、IONODESにお問い合わせいただくか、www.ionodes.comにアクセスしてください。

Warning: ION-R100 Webインターフェースは、Microsoft Internet Explorer 8.0以降でテストおよび検証されています。他のブラウザを使用しても、不正な動作が発生しない場合があります。

7 ファームウェア更新の実行

このセクションでは、ION-R100をWebアプリケーションから新しいファームウェアバージョンに更新する方法について説明します。

1. お気に入りのWebブラウザを使用して、デバイスのWebアプリケーションに移動します。
2. [メンテナンス]タブをクリックします。
3. [更新]ボタンをクリックします。ファームウェア更新ファイルを要求されます。IONODESから提供された.iofファイルを選択してください。



4. アップデートのステータスを示す次のメッセージが表示されます。

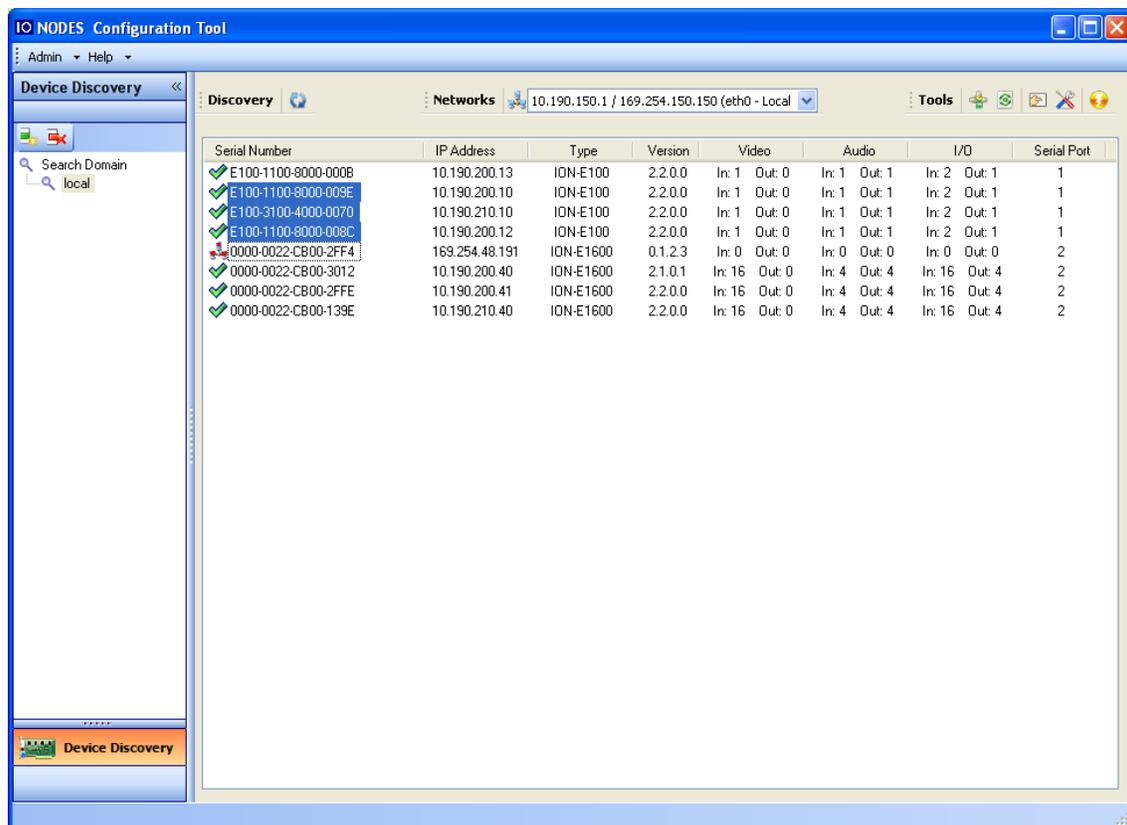
- o ファームウェアのアップロードが進行中... (100%)
 - 約95秒続きます。
 - ステータスLEDは緑色です。
- o ファームウェアがアップロードされました。内部ストレージに保存しています... (0%)
 - 約45秒続きます。
 - ステータスLEDが赤緑で点滅しています。
- o ファームウェアの検証と解凍... (0%)
 - 約105秒続きます。
 - ステータスLEDが赤緑で点滅しています。
- o ファームウェアのインストール準備完了。デバイスを再起動しています... (0%)
 - デバイスが再起動するまで、Webページはデバイスから切断されます。
 - デバイスが再び起動すると、ログインを求められます。
 - 約110秒続きます。
 - ステータスLEDはオレンジです。
- o ファームウェアの安定性のテスト... (26%)
 - 120秒間続く。
 - ステータスLEDが赤緑で点滅しています。
- o ファームウェアの更新が完了しました。(100%)。

7.1 バッチファームウェアアップデート

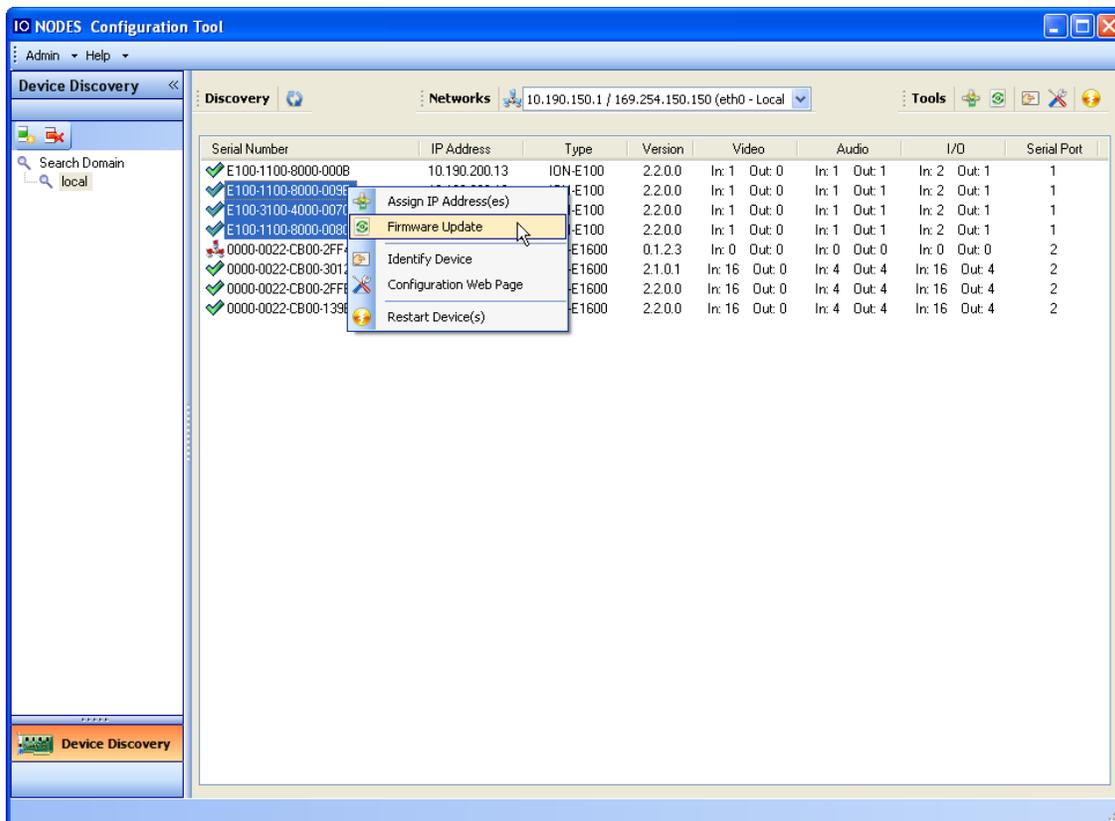
このセクションでは、複数のION-R100デバイスをICTからの新しいファームウェアバージョンにバッチ更新する方法について説明します。

ファームウェアのバッチ更新は、ファームウェア更新セッションを開始することにより機能します。一度に許可されるセッションは1つのみであり、セッションごとに選択できるデバイスは20個のみです。

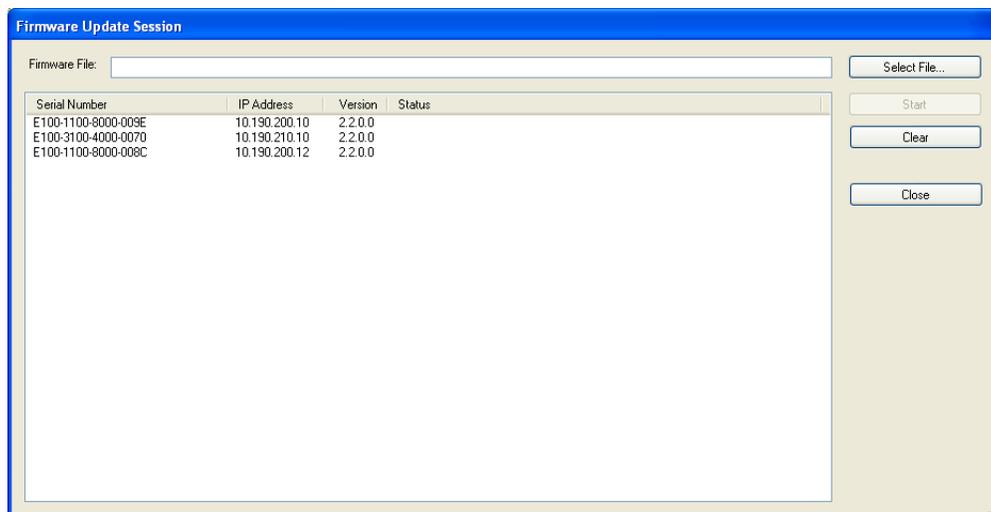
ICTから、同じタイプの1つ以上のデバイスを選択します。



選択したデバイスでマウスの右ボタンを使用して、[ファームウェアの更新]メニューオプションを選択します。



ファームウェア更新セッションを開始するには、「ファイルを選択...」ボタンをクリックして、新しいファームウェアに対応する「.iof」ファイルを選択します。選択したら、「開始」ボタンをクリックします。



開始されると、「ファームウェア更新セッション」ウィンドウにファームウェア更新の進行状況が表示されます。このウィンドウは、現在のセッションを失うことなくいつでも閉じることができます。

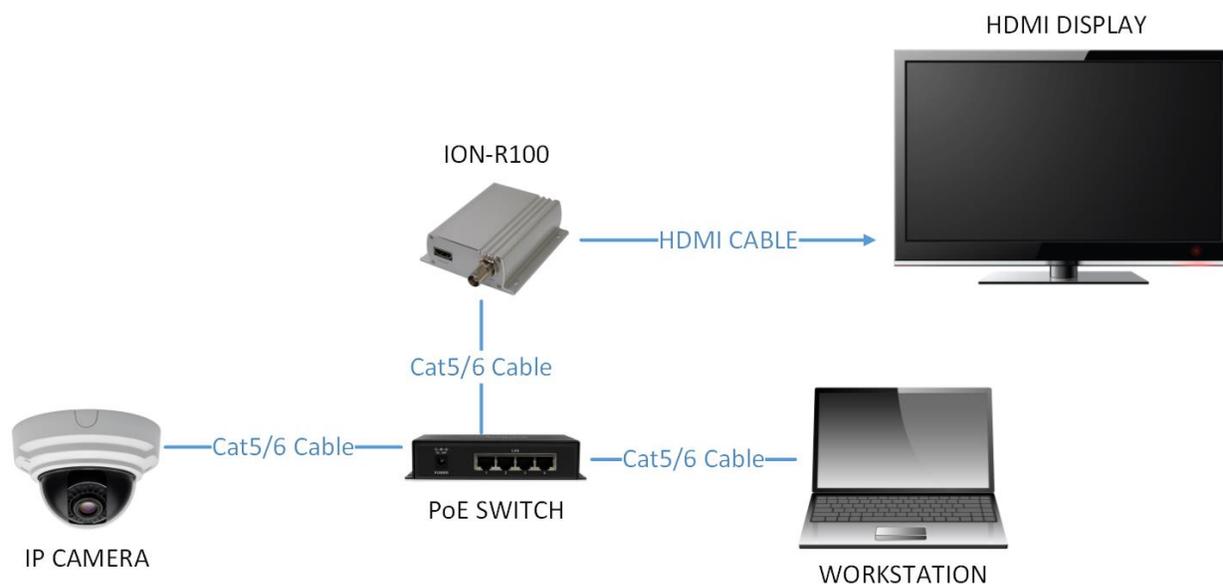
閉じている場合、現在のセッションの進行状況を確認するには、[ツール]ツールバーの  ボタンをクリックして[ファームウェア更新セッション]ウィンドウを再度開きます。

完了したら、「ファームウェア更新セッション」ウィンドウから現在のセッションをクリアし、必要に応じて新しいセッションを再起動します。

Quick Setup Guides

7.2 IPカメラ付き1x1 HDMIレイアウト

このクイックセットアップガイドは、IPカメラで使用するHDMIディスプレイの1x1出力レイアウトでスポットモニターとして使用するためにION-R100をすばやくセットアップするのに役立ちます。



1. ION-R100とHDMIディスプレイをHDMIケーブルで接続します。
2. Cat5 / 6ネットワークケーブルを使用して、ION-R100をPoEスイッチに接続します。
3. ION-R100の電源がオンになります（PoE経由）。前面のステータスLEDが緑色に変わるまで待ちます。
4. ワークステーションをION-R100と同じネットワークに接続します。
5. ワークステーションでIonConfigToolを起動します（www.ionodes.comにあります）。
6. IonConfigToolがION-R100を検出してリストするはずですが。
7. 目的のTCP / IPネットワークパラメータをION-R100に適用します（静的IPを推奨）。
8. ワークステーションで、ION-R100のIPアドレスを入力してWebブラウザを開きます。
9. ION-R100 Webインターフェースにログインします（デフォルトはadmin：adminです）。
10. 設定/ビデオ出力設定セクションに移動します。

11. [一般]サブセクションの下：

- a.出力コネクタをHDMIに設定します。
- b.出力デジタル形式を目的の解像度に設定します。
- c.出力レイアウトを1x1に設定します。

12.デコーダーの選択：

- a.デコーダー1を選択します。
- b.IPカメラストリームに一致する適切なコーデックを選択します。
- c. [有効]チェックボックスをオンにします。
- d. [接続の種類]で[アクティブ]を選択します。
- e.アクティブな接続URIフィールドにIPカメラストリームのURIを入力します。
(IPカメラメーカーごとのURIのリストについては、www.ionodes.comをご覧ください)

13.構成セクションの下部にある[保存]ボタンをクリックします。

14.上記の変更には、デバイスの再起動が必要です。ION-R100の電源を入れ直します。

15.フロントプレートのステータスLEDが緑色に変わるまで待ちます。

16.ワークステーションでWebブラウザを開き、ION-R100の構成/ビデオ出力構成セクションに移動します。

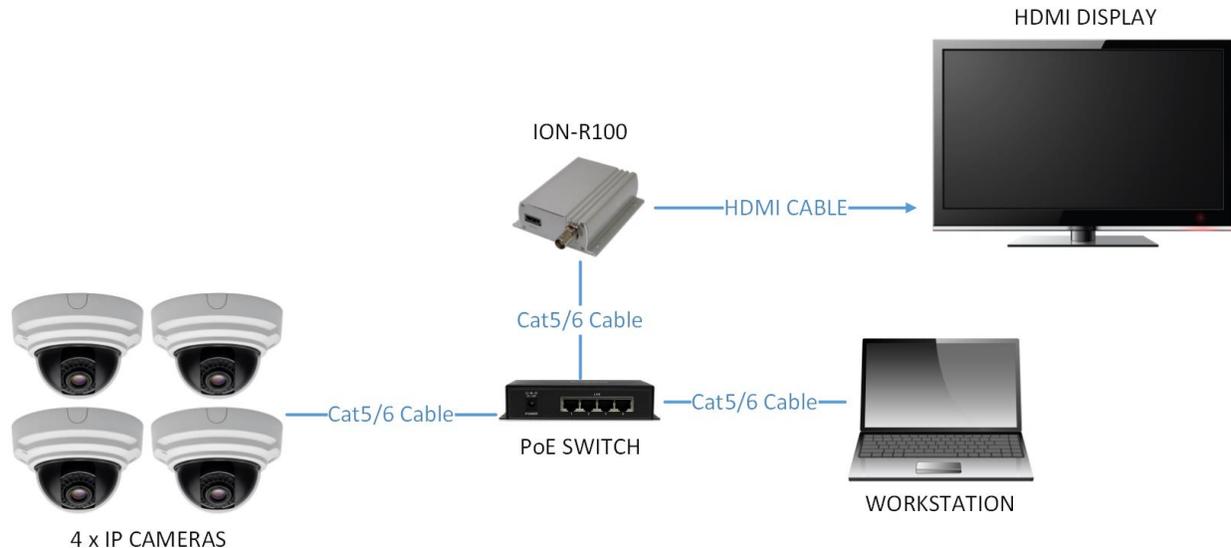
17. [アクティブな接続ステータス]フィールドに[接続済み]と表示され、ION-R100とIPカメラ間の接続が成功したことが示されます。

18.これで、HDMIディスプレイにビデオが表示されます。

19.これで、ION-R100がIPカメラとポイントツーポイントで設定され、ソフトウェアの支援や人の介入なしに、起動時にビデオストリーム接続が再開されます。

7.3 2x2 HDMI Layout w/ Four IP Cameras

このクイックセットアップガイドは、4台のIPカメラで使用するHDMIディスプレイの2x2出力レイアウトでスポットモニターとして使用するためにION-R100をすばやくセットアップするのに役立ちます。



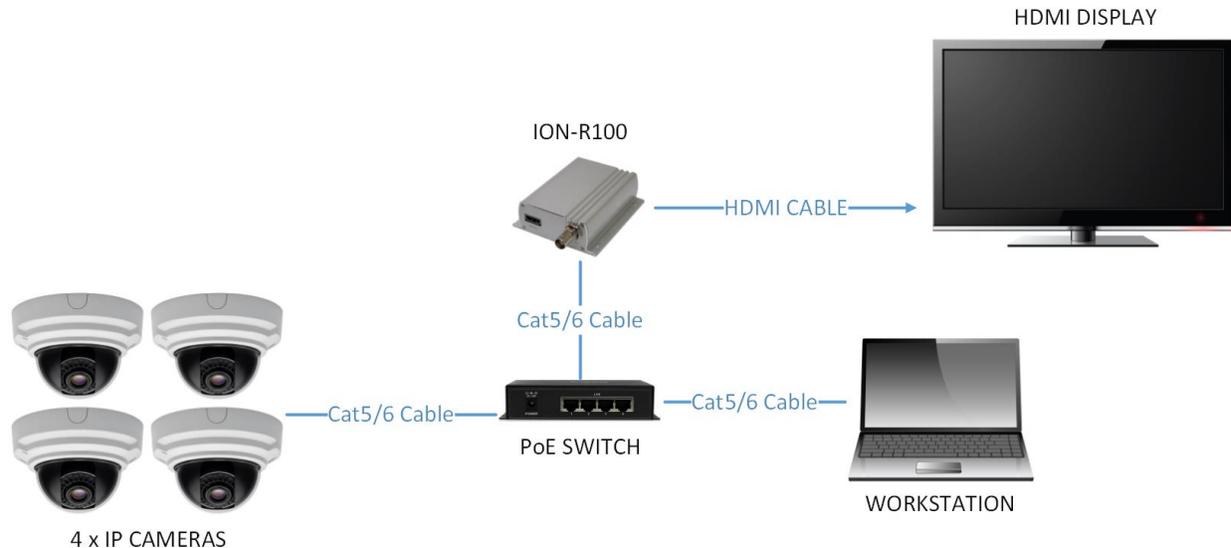
1. ION-R100とHDMIディスプレイをHDMIケーブルで接続します。
2. Cat5 / 6ネットワークケーブルを使用して、ION-R100をPoEスイッチに接続します。
3. ION-R100の電源がオンになります（PoE経由）。前面のステータスLEDが緑色に変わるまで待ちます。
4. ワークステーションをION-R100と同じネットワークに接続します。
5. ワークステーションでIonConfigToolを起動します（www.ionodes.comにあります）。
6. IonConfigToolがION-R100を検出してリストするはずです。
7. 目的のTCP / IPネットワークパラメータをION-R100に適用します（静的IPを推奨）。
8. ワークステーションで、ION-R100のIPアドレスを入力してWebブラウザを開きます。
9. ION-R100 Webインターフェースにログインします（デフォルトはadmin : adminです）。
10. 設定/ビデオ出力設定セクションに移動します。
11. [一般]サブセクションの下：
 - a. 出力コネクタをHDMIに設定します。
 - b. 出力デジタル形式を目的の解像度に設定します。
 - c. 出力レイアウトを2x2に設定します。
12. デコーダーの選択：
 - a. デコーダー1を選択します。

- b. P カメラストリームに一致する適切なコーデックを選択します。
 - c. [有効]チェックボックスをオンにします。
 - d. [接続の種類]で[アクティブ]を選択します。
 - e. [アクティブな接続URI]フィールドにIPカメラストリームのURIを入力します (IPカメラメーカーごとのURIのリストについては、www.ionodes.comにアクセスしてください)。
13. 他の3台のIPカメラすべてについて、Decoder 2、3、および4に対して上記の手順を実行します。
 14. 構成セクションの下部にある[保存]ボタンをクリックします。
 15. 上記の変更には、デバイスの再起動が必要です。ION-R100の電源を入れ直します。
 16. 前面プレートのステータスLEDが緑色に変わるまで待ちます。
 17. ワークステーションでWebブラウザを開き、ION-R100の構成/ビデオ出力構成セクションに移動します。
 18. 各デコーダー (1~4) の[アクティブな接続ステータス]フィールドに[接続済み]が表示され、デコーダーとそれに関連付けられたIPカメラ間の接続が成功したことが示されます。
 19. これで、2x2タイルレイアウトでビデオがHDMIディスプレイに表示されます。
 20. これで、ION-R100は4台のIPカメラとポイントツーポイントで構成され、起動時にソフトウェアの支援や人の介入なしでビデオストリーム接続を再開します。

Warning: 重要-2x2レイアウトの場合、各デコーダータイルは、D1解像度までのIPカメラストリームのデコードと表示のみが可能です。IPカメラストリームURIが、D1を超えないビデオ解像度と一致することを確認してください。解像度が高いと、デコードされたビデオが表示出力に紫色や緑色のアーティファクトで表示される場合があります。

7.4 1x1 Sequence HDMI Layout w/ Four IP Cameras

このクイックセットアップガイドは、4台のIPカメラで使用するHDMIディスプレイの1x1シーケンス出力レイアウトでスポットモニターとして使用するためにION-R100をすばやくセットアップするのに役立ちます。



1. ION-R100とHDMIディスプレイをHDMIケーブルで接続します。
2. Cat5 / 6ネットワークケーブルを使用して、ION-R100をPoEスイッチに接続します。
3. ION-R100の電源がオンになります（PoE経由）。前面のステータスLEDが緑色に変わるまで待ちます。
4. ワークステーションをION-R100と同じネットワークに接続します。
5. ワークステーションでIonConfigToolを起動します（www.ionodes.comにあります）。
6. IonConfigToolがION-R100を検出してリストするはずです。
7. 目的のTCP / IPネットワークパラメータをION-R100に適用します（静的IPを推奨）。
8. ワークステーションで、ION-R100のIPアドレスを入力してWebブラウザを開きます。
9. ION-R100 Webインターフェースにログインします（デフォルトはadmin : adminです）。
10. 設定/ビデオ出力設定セクションに移動します。
11. [一般]サブセクションの下：
 - a. 出力コネクタをHDMIに設定します。
 - b. 出力デジタル形式を目的の解像度に設定します。
 - c. 出力レイアウトをシーケンスに設定します。
 - d. 目的のシーケンス順序とシーケンス間隔を設定します。
12. デコーダーの選択：

- a. デコーダー1を選択します。
 - b. IPカメラストリームに一致する適切なコーデックを選択します。
 - c. [有効]チェックボックスをオンにします。
 - d. [接続の種類]で[アクティブ]を選択します。
 - e. [アクティブな接続URI]フィールドにIPカメラストリームのURIを入力します (IPカメラメーカーごとのURIのリストについては、www.ionodes.comにアクセスしてください)。
13. 他の3台のIPカメラすべてについて、Decoder 2、3、および4に対して上記の手順を実行します。
 14. 構成セクションの下部にある[保存]ボタンをクリックします。
 15. 上記の変更には、デバイスの再起動が必要です。ION-R100の電源を入れ直します。
 16. 前面プレートのステータスLEDが緑色に変わるまで待ちます。
 17. ワークステーションでWebブラウザを開き、ION-R100の構成/ビデオ出力構成セクションに移動します。
 18. 各デコーダー (1~4) の[アクティブな接続ステータス]フィールドに[接続済み]が表示され、デコーダーとそれに関連付けられたIPカメラ間の接続が成功したことが示されます。
 19. これで、設定された時間間隔で4台のIPカメラを順番に表示するフルスクリーンレイアウトでHDMIディスプレイにビデオが表示されます。
 20. これで、ION-R100は4台のIPカメラとポイントツーポイントで構成され、起動時にソフトウェアの支援や人の介入なしでビデオストリーム接続を再開します。

Warning: **IMPORTANT**–シーケンスレイアウトの場合、各デコーダータイトルは、D1解像度までのIPカメラストリームのデコードと表示のみが可能です。 IPカメラ時代のストリームURIが、D1を超えないビデオ解像度と一致することを確認してください。 解像度が高いと、デコードされたビデオが表示出力に紫色や緑色のアーティファクトで表示される場合があります。

Annex A – Configuration Parameter Reference

1. Video Output Configuration

- **入力標準** – ビデオ標準では、ビデオソースをNTSC、PAL、または720pから選択できます。
- **輝度** - 輝度フィルターを使用すると、ビデオ出力の黒レベルを設定できます。表示される最も暗いディテールと、それらのディテールの暗さを制御します。設定が高すぎると、すべてが色あせてくすんだように見え、設定が低すぎると、影で細部を見ることができなくなります。
- **コントラスト** – コントラストフィルターは通常、明るさが調整されると設定されます。コントラストを使用すると、ビデオ出力の明るいディテールの明るさを制御できます。
- **色相** - 色相フィルターを使用すると、画像全体の色相を調整できます。色相は、オブジェクトから反射または透過した色です。標準カラーホイール上の位置として測定されます。
- **彩度** - 彩度フィルターとも呼ばれる彩度フィルターを使用すると、ビデオ出力の色の強さや純度を調整できます。彩度は、色相に比例したグレーの量を表します。標準のカラーホイールでは、中心から端に向かって彩度が増加します。彩度フィルターを使用すると、画像全体の彩度を調整できます。
- **背景色** - このパラメーターを使用すると、ストリームがデコードされていないときにビデオ出力に表示されるデフォルトの背景色を指定できます。

Annex B – Troubleshooting Guide

- **デバイスが起動していない**

- o 12V (40W) 電源がデバイスに接続されていることを確認します。
- o PoEを使用している場合、RJ45ネットワークリンクが適切に電力を供給していることを確認します。
- o 有効な電源が検出されると、ステータスLEDが点灯します。
- o システムステータスLEDのステータスを確認して、電源投入時のデバイスの状態を判断します。

- **デバイスを検出できない、またはネットワーク経由で通信できない**

- o デバイスを検出する前に、ステータスLEDが黄色に点灯している必要があります。これは、デバイスの準備完了状態を示すためです。
- o デバイスがネットワークに接続されていることを確認してください。
- o RJ45コネクタの緑色のLEDが点灯していることを確認します。点灯していない場合は、ネットワークスイッチとのネットワーク接続を確認します。
- o ION-R100を動的に検出するには、ネットワークおよびスイッチ機器がマルチキャストネットワークをサポートしている必要があります。（Bonjourプロトコル）

Annex C – Statement Limited Warranty

本書にてIonodes株式会社（Ionodes）により提供される保証は唯一の認可Ionodes株式会社（Ionodes）リセラー、インテグレータまたはディストリビューターから購入し、ヨーロッパ、アジアや北米の国から戻ったION-R100の製品に適用され、すべての中南米諸国を除外します。用語「ION-R100は」ION-R100モジュール、任意のモジュールのアップグレード、または付属品、またはそれらの任意の組み合わせを意味します。「ION-R100」という用語には、ION-R100がプリロードされているか、後でインストールされているか、別の限定保証の対象となるソフトウェアプログラムは含まれません。この保証書の内容は、契約によって放棄または制限できない購入者の法的権利に影響を与えるものではありません。この限定保証に関してご質問がある場合は、Ionodes Inc.およびその再販業者にお問い合わせください。ION-R100の保証期間は、ION-R100製品の請求日から2年間です。

ION-R100用Ionodes保証

Ionodesは、各ION-R100に材料および製造上の欠陥がないことを保証し、ION-R100の公式公開仕様に準拠しています（詳細については、<http://www.ionodes.com>を参照してください）。ION-R100の保証期間は、製品のIonodesによる請求日から始まる特定の固定期間です。有効な請求証明が見つからない場合、保証はIonodes Inc.によって無効になるか、ION-R100がシリアル番号に基づいてIonodes Depotセンターから出荷された日から測定されます。保証期間中にION-R100が正常に動作しない場合、Ionodesはオプションで、以下に記載されている場合を除き、追加料金なしで修理または交換します。場合によっては、交換製品が新しくなく、以前にインストールされていた可能性があります。使用される交換製品に関係なく、Ionodesの適切な保証条件が適用されます。ケースIonodesまたは販売店がIonodes ION-R100を修復することができないで、あなたは、代わりに未修復のION-R100の換算値によって限り正当化として一部払い戻しを要求したり、そのようなIONに対する契約の取消を求めることができます-R100と返金されます。

保証範囲

保証は、誤用、事故、改造、不適切な物理環境または動作環境、エンドユーザーによる不適切なメンテナンス、またはIonodesが責任を負わない製品に起因する障害に起因するION-R100の修理または交換を対象としていません。保証は、ION-R100又は部品識別ラベルの除去又は改変により排他されます。

これらの保証は、お客様の唯一の保証であり、他のすべての保証または条件、明示または黙示を含めないものと、商品性および適合FOR A特定目的の暗黙の保証または条件をREPLACE。

保証対象外のアイテム

Ionodesは、ION-R100の中断のない、またはエラーのない操作を保証しません。「ハウツー」質問やION-R100のセットアップとインストールに関する電話による支援など、保証下のION-R100に対して提供される技術的またはその他のサポートは、いかなる保証も提供されません。

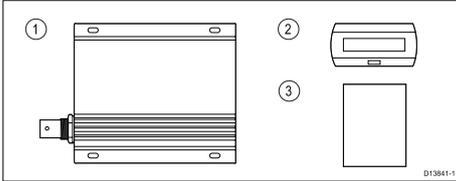
Product overview

IONODES ION-R100 IPビデオデコーダーは、M100 / 200サーマルカメラからのIPビデオ出力を使用し、アナログディスプレイに適したコンポーネント信号に変換します。

このクイックスタートガイドでは、IPビデオデコーダーを接続する方法、およびM100/M200サーマルカメラと連動するように設定する方法について説明します。

Parts supplied

次に、IPビデオデコーダーで提供されるパーツを示します。



- IONODES ION-R100 IP video decoder
- Suppression ferrite
- Quick Start Guide

Before you start

IPビデオデコーダーのインストールと設定を開始する前に、次の項目があることを確認してください。

- イーサネットネットワークスイッチハブは4ポート以上空けといて下さい。
- (オプション)Power over Ethernet(PoE)インジェクタ。イーサネットネットワークスイッチが少なくとも1つの空きポートでPOEを提供する場合、IPビデオデコーダーに電力を供給するPoEインジェクタは必要ありません。

- 両端にオス型RJ45コネクタ(最大長 100 m)のCat 5e ネットワークケーブルPoEインジェクタを使用する場合は、2本のネットワークケーブルが必要です。
- 同軸ビデオケーブルには、IPビデオデコーダーのVIDEO OUTに接続するオス型BNCコネクタが取り付けられています。最適なビデオ品質を得るには、Ancor Part No.151025.5などの高品質マリングレードのRG59またはRG6ケーブルを使用します。
- IPビデオデコーダーからのアナログコンポジットビデオ信号を表示できます。
- 初期設定の場合のみ、Windowsノートパソコンまたは以下のソフトウェアがインストールされているPC。
 - Microsoft Internet Explorer Web ブラウザ(バージョン7以上) Microsoft Silverlight (インストールするには、Internet Explorer から www.microsoft.com/getsilverlight にアクセスしてください)。
 - Silverlight がすでにインストールされている場合は、バージョン番号が表示されます。インストールされていない場合は、画面の指示に従って Silverlight のインストールを完了します。
 - IONODES IonConfigTool ユーティリティ(設定中にネットワーク上の IP ビデオ デコーダーを見つけるために必要です)。このツールは、www.ionodes.com の "Support" エリアからダウンロードしてください。

注意: Internet Explorer は、Silverlight をサポートする唯一の Web ブラウザです。このブラウザは、IP ビデオデコーダーの設定ページにアクセスするために必要です。Microsoft Edge, Google Chrome, Mozilla Firefox, および Opera ブラウザの最新バージョンでは、Silverlight はサポートされていません。

M100/M200 サーマルカメラと JCU-3 リモートキーパッドのほかに、リストされている項目があります。完全なM100/M200システムを取り付けるには、追加のアクセサリケーブルが必要になる場合もあります。

Connections overview

お使いの製品には、次のコネクタが含まれています。

IP video decoder connectors

Connector	Description	Connections and cable
	RJ45 Ethernet network port (PoE サポート)。 IPビデオデコーダー本体の Ethernet-NET/PoE というラベルが付いています。	次のイーサネットネットワークポートに接続します。 Power over Ethernet,またはPoEインジェクタのデータ出力を提供するイーサネットネットワークスイッチ。 ネットワークスイッチがPoEに対応していない場合に必要です。 ケーブル:RJ45-to-RJ45 Cat 5e ネットワークケーブル(最大長 100 m)。
	アナログコンポジットビデオ出力用メス型BNCコネクタ(NTSCまたはPAL)。 IPビデオデコーダー本体でVIDEO OUTというラベルが付いています。	コンポジットアナログビデオ入力コネクタ(専用ビデオディスプレイまたはモニター、またはマルチファンクションディスプレイ(MFD)に接続します)。 ケーブル:一方の端にオス型BNCコネクタ(IPビデオデコーダーに接続)の付いた同軸ビデオケーブル

PAGE 2

メモ: HDMIデジタル出力用IPビデオデコーダー(HDMI OUT)には、追加のコネクタがあります。

IPビデオデコーダーは、デフォルトではVIDEOOUTコネクタからアナログビデオを提供します。

アナログとHDMIの同時デジタル出力はできません。HDMIディスプレイで使用するためのIPビデオデコーダーの設定の詳細については、www.ionodes.com の "Products" エリアからダウンロードできるIONODESの "ION-R100 User Manual" を参照してください。

メモ: Ethernet/POEコネクタに隣接する端子を使用して、IPビデオデコーダーの電源を入れてはいけません。電源は、互換性のあるネットワークスイッチまたはPoEインジェクタを使用してPower over Ethernet(PoE)を使用する必要があります。

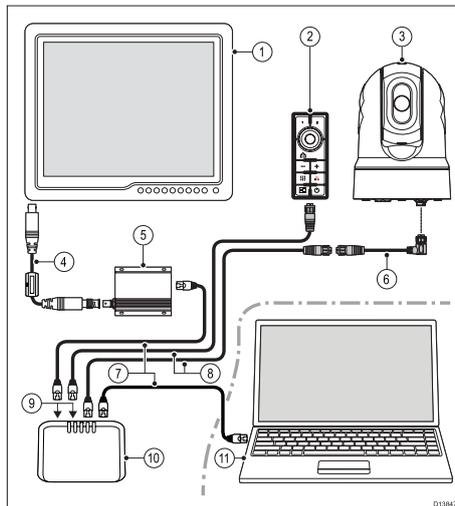
Location requirements

IPビデオデコーダーをデスクの下などの乾いた場所にインストールします。IPビデオデコーダーケーシングは、水の浸入に対して密閉されていない。信頼性の高い動作のためには、IPビデオデコーダーを0°C(32°F)を超える周囲温度の維持が可能な場所に設置します。非常に低温で、0°C(32°F)未満のIONODES ION-R100 IPビデオデコーダーが正常に動作しない場合があります。

Connecting your IP video decoder

次の図は、IPビデオデコーダーをM100/M200サーマルカメラネットワークに接続する方法を示しています。ルータが他のネットワークセグメントまたはインターネットへのリンクを提供していないスタンドアロンネットワークを想定しています。ネットワークには、多機能ディスプレイ(MFD)などの追加アイテムや、ネットワークに接続されたその他の生産物などが含まれます。

M100/M200 thermal camera network with IP video decoder



注意: この図では、Power over Ethernet(PoE)以外の電源接続は示されていません。M100/M200サーマルカメラ、アナログビデオモニター、およびイーサネットスイッチにはそれぞれ専用の電源接続が必要です。

メモ: WindowsノートパソコンまたはPCが必要な場合は、IPビデオデコーダーの設定時だけです。設定が完了したら、ノートパソコンをネットワークから切断できます。

Item	Description
1	Analog video monitor
2	*JCU-3 remote keypad

Item	Description
3	*M100/M200 thermal camera
4	Coaxial analog video cable, with suppression ferrite fitted (see Installing the video-cable suppression ferrite)
5	*ION-R100 IP video decoder
6	RayNet-to-RayNet network cable
7	RJ45-to-RJ45 network cable
8	RayNet-to-RJ45 network cable
9	Power over Ethernet (PoE)-capable network ports
10	Ethernet network switch with PoE capability
11	Windows laptop computer — only needed while configuring the IP video decoder

*Included with M100/M200 system kits.

Installing the video-cable suppression ferrite

EMCに準拠するには、次の手順に従って、供給された抑制フェライトをアナログビデオケーブルに取り付ける必要があります。

- 抑制フェライトの留め金を開きます。
- 抑制フェライトをアナログビデオケーブルに留めます。
- ケーブルにぴったりと差し込みます。

Configuring your IP video decoder

IPビデオデコーダを初めて使用する場合は、M100/M200 サーマルカメラのネットワークの位置でデコーダをアップデイトする必要があります。次の手順では、これを行う方法と、カメラとIPビデオデコーダのIPアドレスをネットワークに合わせて修正する方法について説明します。

1. PC/ノートパソコンが、IPビデオデコーダの接続で示すように設定されていることを確認します。100/M200 サーマルカメラ、および JCU-3 リモート キーボード。

Windows 7,8,または10でネットワークと共有センターでこれを行うには、ネットワーク検出を有効にするオプションが選択されていることを確認します。

メモ: IPビデオデコーダはUPnPデバイスではないので、PC/ノートパソコンのネットワークにデバイスとしてリストされません。

2. 図のように他のシステムコンポーネントを接続したら、アナログビデオモニタの電源を入れます。

IP ビデオ デコーダおよび Jcu-3 リモート キーボードには、ネットワークスイッチのPoE対応ポートによって、またはPoEインジェクタを介して電力が供給されます。(オプションで、JCU-3 リモート キーボードに専用の電源を供給できます)。

電源を入ると、M100/M200 サーマル カメラと JCU-3 リモート キーボードが自動的に PC/ノートパソコンのデバイスリストに追加されます。カメラには、部品番号およびシリアル番号に従ってラベルが付けられます(例:E70353 0025)。

図のように他のシステムコンポーネントを接続したら、アナログビデオモニタの電源を入れます。

注意: Windows 7,8,または10では、Windowsエクスプローラネットワークにネットワークデバイスが表示されます。

3. IPビデオデコーダが起動するまで待ちます。IPビデオデコーダの起動中に、(Ethernet/POEコネクタの横にある)ステータスライトが点滅して進行状況を示します。

- 約 90 秒間オレンジに点滅してから、約 90 秒間緑に点灯します。
- これは、IP ビデオ デコーダが実行され、ビデオ出力が提供されているが、カメラからの IP ビデオ入力がまだ受信されていないことを示します(緑色に点滅)。

メモ: IPビデオデコーダのEthernet/PoEコネクタには、ネットワークアクティビティ(黄色の点滅)、およびPoE(緑色の点灯)を介した電力供給を示す2つのLEDもあります。

この段階では、ビデオ モニタに明るい青色の画面が表示されます。

4. 図のように他のシステムコンポーネントを接続したら、アナログビデオモニタの電源を入れます。

JCU-3リモートキーボードのUnicontrolerが赤く点灯していることを確認します。これは、JCU-3 リモート キーボードがカメラとペアであることを示します。UnicontrolerのLEDが赤で点滅している場合は、キーボードとカメラをペアリングする必要があります。ペアリング手順については、キーボードに付属のマニュアルを参照してください。

5. Windows エクスプローラで、[ネットワーク] でカメラ項目を右クリックし、[プロパティ] を選択します。表示される [Properties] ダイアログで、ダイアログの下部に表示されているカメラの IP アドレスを書き留めます。

注意: IPアドレスはaaa.bbb.ccc.dddの形式(169.254.27.154)の番号です

6. ノートパソコンまたはPCでIOnConfigToolユーティリティを実行します。このユーティリティはネットワークを検索し、ION-R100 IP ビデオ デコーダの詳細を一覧表示します。ユーティリティがネットワーク上で IP ビデオ デコーダを見つけるには、数秒かかる場合があります。

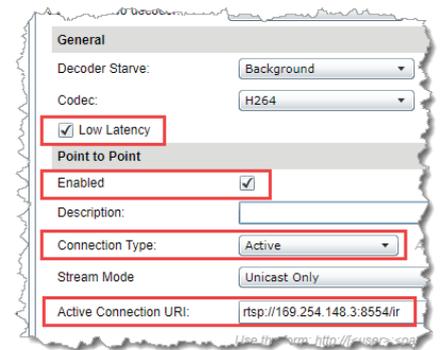
7. 次の手順で必要なIPビデオデコーダのIPアドレスを書き留めます。これはカメラのIPアドレスとは異なります。



注: ユーティリティで IP ビデオデコーダの詳細が表示されない場合は、[Networks] (ネットワーク) リスト(ユーティリティウィンドウの上部付近)に、IP アドレスの後に続くテキスト(ローカルエリア接続)が表示されていることを確認します。

表示されていない場合は、リストをクリックし、テキスト(ローカルエリア接続)を含む項目を選択します。次に、ネットワークリストの左にある検出ボタンをクリックします

8. IPアドレスを入力します。IPビデオデコーダのWebインターフェイスが表示されます。
9. [Username] ボックスに"admin"と入力し、[Password] ボックスに"admin"と入力し、[Log in] をクリックします。[System Status] ページが表示されます。
10. 左側のメニューで、[Configuration] をクリックし、[Video Out] タブをクリックします。[Video Output Selection] オプションが表示されます。



11. In Decoder Selection セクションで、次のように変更します。
 - i. [General] サブセクションで、[Low Latency] チェックボックスを選択します。
 - ii. [ポイントツーポイント(Point to Point)] サブセクションで、[有効(Enabled)] チェックボックスをオンにします。
 - iii. [Connection Type] リストから、[Active. iv] を選択します。

- iv [Active Connection URI] ボックスに、rtsp://camera-ip-address:8554/ir-replacing-camer-ip-adding-address とステップ5で指定した IP アドレスを入力します。

たとえば、カメラのIPアドレスが169.254.148.3の場合は、[Active Connection URI] ボックスに"rtsp://169.254.148.3:8554/ir"と入力します。

注意: [Active Connection URI] ボックスのテキストでは、大文字と小文字が区別されます。自分のカメラのIPアドレスを使用して、図のようにテキストを入力します。

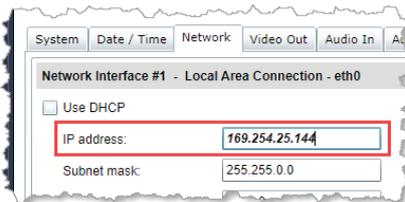
12. ページの下部にある [Save] をクリックします。

- IP ビデオ デコーダはカメラへの接続を試み、ビデオ ストリームを探します。
- IP ビデオ デコーダでカメラのビデオ ストリームが検出されると、[Video Out] タブの下部にある [Active Connection Status] が表示され、IP ビデオ デコーダのステータス ライトが緑色に変わります。
- または、M100/M200 サーマルカメラからのビデオ出力を表示します。カメラがスタンバイ モードの場合、ビデオ出力はほとんど黒で、一部のカメラアイコンが付いた場合があります。

JCU-3 リモート キーボードの [Home] ボタンを押してカメラを起動し、ライブ サーマルイメージを表示します。

注意: 接続できない場合は、大文字と小文字が区別される Active Connection URI と、ステップ5で説明した IP アドレスを確認してください。

13. [ネットワーク] タブをクリックします。デコーダのネットワーク詳細が表示されます。
14. IP ビデオ デコーダの IP アドレス(ステップ7でメモ) が"169.254"で始まる場合は、[DHCP] を使用する(Use DHCP) チェックボックスをオフにします。それ以外の場合は、このチェックボックスをオンのままにします。



IPビデオデコーダのIPアドレスが"169.254"で始まることを確認し、IPアドレスボックスで最後の数を増やします。たとえば、現在のIPアドレスが"169.254.25.143"の場合は、"169.254.25.144"に変更します。

ただし、現在のIPアドレスの最終数が"254"の場合は、1つだけ"253"に減らします。次に、ページの下部にある [Save] をクリックします。確認メッセージが表示されます。

デコーダに割り当てた新しいIPアドレスを書き留めます。今後デコーダ設定ページにアクセスするには、これが必要ですよ。

注意: IPビデオデコーダのIPアドレスが"169.254"で始まらない場合は、ネットワークにDHCPサーバーがあります。

これは、ネットワーク デバイスに IP アドレスを発行してネットワーク設定を自動化するソフトウェアです。

DHCP サーバは、マルチファンクション ディスプレイ(MFD) またはルータなどの別のネットワーク コンポーネントで実行できます。DHCP サーバは、"192.168.", "172.16." から始まる IP アドレスを"172.31.", または"10.15." に割り当てる可能性が高くなります。

15. Internet Explorer ブラウザで、カメラのIPアドレスをアドレスバーに入力します。カメラのWebインターフェイスが表示されます。

16. [ユーザー名] ボックスに"admin"と入力し、[パスワード] ボックスに"firadmin"と入力し、[ログイン] をクリックします。[ライブビデオ] ページが表示されます。
17. トップメニューで [Configuration] をクリックし、左側のメニューで [Server] で、[LAN Settings] をクリックします。カメラのネットワークオプションが表示されます。



18. ページの [Interface: eth0] セクションで、[IP Address Mode] リストから [Static] を選択します。

注意: [IP Address Mode] (IPアドレスモード) ボックスに表示されているアドレスのレコードを保存します。今後、カメラのコンフィギュレーション Web ページにアクセスするには、このアドレスが必要です。

19. ページの下部までスクロールし、[保存(Save)] をクリックします。カメラのネットワークプロセスを再起動する必要があることを示す情報ダイアログが表示されます。[Accept] をクリックして情報ダイアログを閉じ、[Restart Network] をクリックします。
20. ネットワーク プロセスが再起動したことを確認する2番目の情報ダイアログが表示されます。[Accept] をクリックして情報ダイアログを閉じ、次に上部のメニューバーで [Log out] をクリックします。
21. Internet Explorer を閉じ、IOnConfigTool ユーティリティを閉じます。
22. IPビデオデコーダとカメラが正しく設定されていることを確認するには、すべてのコンポーネントの電源をオフまたはオフにしてから、手順2の説明に従って電源を入れます。
23. IP ビデオ デコーダが完全に再起動すると(約3分かかることを思い出して)、デコーダのステータス ライトが緑色に点滅し、アナログ ビデオ モニタにカメラからのビデオ フィードが表示されます。
24. これで、ネットワークスイッチからPC/ノートパソコンを外すことができます。M100/M200ネットワークの正常な動作には、PC/ノートパソコンは必要ありません。